

ここにしかない
価値がある。

住んでみんで徳島で!

とくしま 移住ガイド

Let's live in Tokushima

徳島県

●とくしま移住交流促進センター(徳島県窓口)

とくしまな(うとく!)
専用フリーダイヤル **0120-109-407**

しごとに関しては、同フロア内「とくしまジョブステーション」や
ハローワークと連携してサポートします。

[相談受付時間] 月曜～金曜(10:00～18:00) 土曜・日曜・祝日定休
[場所] とくしまジョブステーション内
徳島県徳島市寺島本町西1-61 徳島駅クレメントプラザ5階 徳島駅直結
メールアドレス: tokushima-iju@dune.ocn.ne.jp

※IP電話等、フリーダイヤルをご利用にならない方は、088-624-7987
※予約優先。予約がない場合、お待ちいただくこともあります。

●住んでみんで徳島で!移住相談センター(東京窓口)

[相談受付時間] 火曜～日曜(10:00～18:00) 月曜、祝日定休
[場所] ふるさと回帰支援センター(銀座ファーマーズラボ)
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
TEL.03-6273-4401(徳島県コンシェルジュ直通 090-7720-7047)
<http://tokushima-iju.jp/concierge/madoguchi.html>
メールアドレス: tokushima@furusatokaiki.net

徳島県政策創造部地方創生局 地方創生推進課
TEL.088-621-2701 FAX.088-621-2829
メールアドレス: chihouseiseisuishinka@pref.tokushima.jp

徳島県東京本部
TEL.03-5212-9024 FAX.03-5212-9023
メールアドレス: tokyohonbu@pref.tokushima.jp

徳島県大阪本部
TEL.06-6251-3273 FAX.06-6251-3380
メールアドレス: osakahonbu@pref.tokushima.jp

徳島県名古屋事務所
TEL.052-262-4677 FAX.052-262-4678
メールアドレス: nagoyajimusyo@pref.tokushima.jp

●徳島への アクセス

[飛行機]
東京から1時間20分、福岡から1時間15分

[高速バス]
徳島駅まで、東京から9時間20分、
名古屋から5時間5分～6時間40分、
京都から3時間、大阪から2時間30分、
神戸から1時間50分

[JR]
徳島駅まで、岡山駅から(特急列車を使用)
2時間10分

[フェリー]
和歌山から2時間、東京から18時間、
北九州から15時間

●各自治体の相談窓口

徳島市 経済政策課	TEL.088-621-5225
鳴門市 移住交流支援センター	TEL.088-684-1158
小松島市 秘書政策課	TEL.0885-32-2127
吉野川市 移住交流支援センター	TEL.0883-22-2221
阿波市 移住交流支援センター	TEL.0883-35-4211
勝浦町 移住交流支援センター	TEL.050-3438-7728
上勝町 移住交流支援センター	TEL.0885-46-0111
佐那河内村 移住交流支援センター	TEL.088-679-2113
石井町 総合政策課	TEL.088-674-7503
神山町 移住交流支援センター	TEL.088-676-1177
松茂町 総務課	TEL.088-699-8710
北島町 まちみらい課	TEL.088-698-9806
藍住町 企画政策課	TEL.088-637-3124
板野町 産業課	TEL.088-672-5994
上板町 企画防災課	TEL.088-694-6824
阿南市 移住交流支援センター	TEL.0884-22-7404
那賀町 移住交流支援センター	TEL.0884-62-1184
牟岐町 移住交流支援センター	TEL.0884-72-3420
美波町 移住交流支援センター	TEL.0884-77-3611
海陽町 移住交流支援センター	TEL.0884-73-4156
美馬市 移住交流センター	TEL.0883-52-8129
三好市 移住交流支援センター	TEL.0883-72-7607
つるぎ町 移住交流支援センター	TEL.0883-62-3114
東みよし町 移住交流支援センター	TEL.0883-82-6302



最新情報は徳島移住・交流支援サイト『住んでみんで徳島で!』をチェック!

<http://tokushima-iju.jp>



美波町

海亀が産卵をする砂浜、海食崖、海食洞など、変化に富んだ海岸線で太平洋に臨む美しい町です。薬王寺をはじめとする名所旧跡や、伝統の祭りも今に受け継がれ、各種イベントなど四季を通じて、多彩な魅力にあふれています。



■人口 7,092人
■学校 小学校3、中学校3

海陽町

海陽町は徳島県の最南端に位置し、徳島市からの所要時間は車で約2時間です。青く美しい海岸は室戸阿南海岸国定公園に指定され、海岸は数々の岬や入り江を有する美しいリアス式海岸となっています。



■人口 9,283人
■学校 小学校3、中学校2

美馬市

17年連続水質四国一の清流「穴吹川」が南北に流れる、自然豊かな地域です。また「うだつの町並み」や「寺町」、「三木家住宅」など、数多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまちでもあります。



■人口 30,501人
■学校 小学校8、中学校7

三好市

大歩危峡や黒沢湿原、竜ヶ岳、剣山といった自然豊かなまちです。ラフティング、パラグライダーといったアクティビティー、四国霊場第66番札所・雲辺寺、平家落人伝説の残る祖谷のかずら橋など歴史的文化的遺産も見どころです。



■人口 26,836人
■学校 小学校15、中学校6

つるぎ町

徳島市から車で西へ約50km、国定公園「剣山」を南に控え、吉野川に注ぐ貞光川と半田川下流域に開けた町です。地形は起伏に富み、急峻な傾斜地にも民家が点在しています。半田そうめん、ゆずなどファンの多い特産品が多くあります。



■人口 8,927人
■学校 小学校3、中学校2

東みよし町

昔からの自然や文化が残り、まちの中央を吉野川が流れる、豊かな水と緑に恵まれた地域です。主要幹線沿いは大型量販店が集積し、町内外からも多くの買物客が訪れており、地域の買物や生活の拠点となっています。



■人口 14,638人
■学校 小学校4、中学校2

藍住町

民間の医療機関や商業施設が充実しているほか、徳島自動車道のインターチェンジが整備されており、県内外へのアクセスも充実しています。生活の利便性が高いとともに、田園風景の広がる自然豊かな住みよいまちです。



■人口 34,626人
■学校 小学校4、中学校2

板野町

四国霊場88か所の3・4・5番が本町にあることから巡礼者が多数訪れます。町民は「お接待」の気持ちをもって、来訪者に対応しています。また、文化施設では歴史文化公園が整備され人々への文化発信の場となっています。



■人口 13,358人
■学校 小学校4、中学校1

上板町

年間平均気温16度の比較的温暖な気候を利用し平野部では都市近郊農業地域を形成し、山間部では果樹栽培が行われるなど農業中心の町です。また、「阿波藍」「阿波和三盆糖」など伝統の「技」を大切に守り続けています。



■人口 12,039人
■学校 小学校4、中学校1

上勝町

2億円に成長した「彩産業」の振興、「上勝町ごみゼロ（ゼロ・ウェスト）宣言」の取組等、「持続可能な集落づくり」に努めています。美しい連山の間を勝浦川が流れている自然豊かな環境の町です。



■人口 1,545人
■学校 小学校1、中学校1

佐那河内村

徳島市から車で約25分のところにある、「徳島県唯一の村」です。基幹産業である農業を中心として栄え、農事文化が育んできた地域コミュニティ（講中・常会・名中）が今もなお残っている、全国でも珍しい地域です。



■人口 2,289人
■学校 小学校1、中学校1

石井町

豊かな自然と田園風景を残しながらも、隣接する徳島市のベッドタウンとして発展し続けています。県下有数の農業・酪農の生産地帯でもあり、特に野菜は京阪神地方の野菜供給基地として重要な役割を果たしております。



■人口 25,590人
■学校 小学校5、中学校2

神山町

周囲を千メートル級の山々に囲まれ、神山森林公園、四国霊場焼山寺、神山温泉などがあります。近年では、世界各国から来町したアーティストが地域に滞在し、創作活動などを通じて、地域住民との交流が生み出されています。



■人口 5,300人
■学校 小学校2、中学校1

松茂町

水産業や農業が昔から盛んに行われているほか、工業団地には、電気・製薬・化学・金属加工等の工場が立地しています。また、町内には空の玄関「徳島阿波おどり空港」や高速バス停留所「徳島とくどくターミナル」があります。



■人口 15,204人
■学校 小学校3、中学校1

北島町

吉野川下流域に発達した三角州のほぼ中央にあり、南は徳島市、北は鳴門市に接しています。戦後まもない頃からチューリップの栽培が始まり、現在では県下有数の産地となっています。



■人口 22,446人
■学校 小学校3、中学校1

吉野川市

「四国三郎」と呼ばれる吉野川の中流域南岸に開けており、北側には吉野川、南側には四国山地の山々に囲まれた場所に位置しています。これらの雄大な自然と平野部の都市機能、うるおいと利便性が共存した住みよいまちです。



■人口 41,466人
■学校 小学校14、中学校4

阿波市

水と緑の豊かな自然が息つき平野部では豊かな土壌を活かした高品質な農産物の産地となっています。また、歴史・文化資源にも恵まれ、国の天然記念物「阿波の土柱」や「四国霊場札所」をはじめとする名所旧跡が点在しています。



■人口 37,202人
■学校 小学校10、中学校4

勝浦町

山裾に開けたみかん畑、平野に田園風景、アユの生息する清流勝浦川など自然豊かな農村です。また、ビッグひな祭りやホテル祭り、秋祭りなど四季折々の多彩な行事が催されるなど、人情味豊かなあたたかいまちです。



■人口 5,301人
■学校 小学校2、中学校1

徳島市

徳島市は、徳島県の東部に位置し、吉野川とその支流がつくり育てた三角州に発達した人口26万人余の県都です。地方の中核的都市として、産業をはじめ、政治、経済、文化、教育、情報といったさまざまな面において高い集積があります。



■人口 258,554人
■学校 小学校30、中学校15

鳴門市

鳴門市は徳島県の東北端に位置し、鳴門海峡をへだてて四国の東玄関口であり、渦潮をはじめとした恵まれた自然や、その恵みを受けた鳴門わかめやなんと金時などの数多くの地元特産物、歴史・文化が織りなす交流拠点都市です。



■人口 59,101人
■学校 小学校14、中学校6

小松島市

徳島県の東部に位置し、徳島市へは車で15分程度で、海山川と自然に恵まれています。特産品はちりめん、鰯、竹輪、フィッシュカツ、やまもも、シタケ、阿波牛など。また、阿波たぬき合戦の舞台となるなど歴史と民話のまちでもあります。



■人口 38,755人
■学校 小学校11、中学校2



みなさん、はじめまして。徳島県知事の飯泉嘉門です。生活スタイルや価値観の多様化が進み、都会での生活よりも「自然に囲まれた地域で生活したい」と考える方が増えています。徳島県では、こうした皆さんのお手伝いができるよう、移住・交流の取組みを積極的に進めているところです。

このパンフレットは、移住を考える皆さんに徳島での生活をイメージしていただけるよう、移住者インタビューを中心に、さまざまな情報を掲載しています。きっと今まで見えなかった本県の魅力が伝わるはずですよ。

徳島県は、豊かな自然や類い希な伝統文化をはじめ、新鮮で安全・安心を誇る豊富な食材など、大都市圏の方々がうらやむ数多くの魅力に満ち、全国屈指の光ブロードバンド環境などの良好な事業環境も整っています。

現在、こうした環境に着目し、「地方創生」のモデルとして全国はもとより海外からも注目を集める「サテライトオフィス」をはじめ、山里での起業、一次産業への従事など、地域との温かい交流のもと、多くの方が新しい働き方、希望のライフスタイルを実現されています。ぜひ皆さんも徳島県民の一員として、一歩先の未来を共に創っていただければと思います。

徳島県知事
飯泉嘉門

地域全体が 親戚みたいな村で 暮らしています。

小さな二人娘と動物たちを連れて小松さんが移住したのは、徳島県唯一の村である佐那河内村。暮らしはじめる前から何度も足を運び、地域の人々と交流しながら住むところを見つけたという彼女は、かつて村の自転車屋さんだったという空き家で個性的な居酒屋を営んでいます。

小松 円さん

【出身地】高知県
【移住年】2015年
【現住所】佐那河内村
【職業】自営業



えたのは有り難かったですね。

——移居前から定期的に佐那河内村へ訪れるようにしていたんですか。

小松さん そうなんです。佐那河内村には「常会」という地域の集まりがあつて。月に一度、公民館や集会所で役場からの連絡事項を確認したり、地域の情報交換をするんですが、移住を決めたとき、不動産屋さんが「今から参加しておくとなええよ」とアドバイスしてくれたんです。移居前から参加させてもらったおかげで、顔を覚えてもらうのは早かったんじゃないかと思っています。家の改修が終わって引越してきたときには「やっと来たんか」と笑われました(笑)。

——佐那河内村で暮らしていくにあたって、仕事の面はどのように考えていたのでしょうか。

小松さん 最初はカフェを考えていたんですよ。でも「村の人たちと仲良くなるにはお酒が一番」と聞いて居酒屋をやることにしたんです。オープンする前は不安もありましたが、ぎつくばらんな雰囲気でお酒を飲む場所がなかったようで、いろいろな世代の方が来てくれるようになりました。同年代のグループもありますし、地域の話もリラックスした雰囲気で行くことができますから、村の人たちとの心理的な距離は一気に縮まったような気がします。

誰かが助け合って暮らしていく場所だから。

——村の生活にはそろそろ慣れてきましたか。

小松さん 33種類のゴミの分別も苦勞せずにできるようになってきましたし、少しずつ村の一員になってきたのかな。10月には村民体育祭があつたんですが、子供からお年寄りまでみんな参加するんですよ。同じチームの人とは自然と仲良くなりやすし、20代や30代の若者も意外と多いんだなということもわかりました。この間もお年寄りと若者がゲートボールで対抗戦をやつていて、おじいちゃんからの野次に金髪のお兄ちゃんが「うるさいー!」と言い返しながらブレイクしている光景を見ました(笑)。みんな真剣だし、手が空いている人が自然に子供

の世話もしてくれるんです。こうした協力関係は本当に佐那河内村のいいところだと思います。

——移住してきて一番変わったことは何ですか。

小松さん 大きく変わったのは娘ですね。消極的で人見知りの性格だったのに、ここに来てからは、自分から畑仕事の中のおばちゃんのところへ走つていたり、びっくりするくらい積極的な子供になりました(笑)。やっぱり小さな村ですから、地域全体が親戚みたいな感覚なんです。きちんと叱ってくれますし、みんなが自分の子供のように接してくれている気がします。よく走り回つて遊ぶようになりましたし、身体も丈夫になりましたね。それから、戸建ての家なので、大好きな動物たちをいっぱい飼うことができたのも大きな変化です。今はこの家に大

自然を眺める度、豊かな気持ちになります。

——雰囲気のある素敵な建物ですが、この「22・28」という店名も気になりますね。

小松さん 娘が生まれた時間を店の名前にしたんです。いつたい何のお店かわからないでしょう。それが狙いなんですよ(笑)。居酒屋としてスタートしたんですが、いろいろやりたいことがあるので、あえて「？」な感じにしています。ここは佐那河内村でたった二つの不動産屋さんにご紹介いただいた物件で、もともとは自転車屋さんだったんですよ。15年近く空き家だったらしいんですが、雰囲気のある佇まいに一目惚れでした。見に来た日に「ここへ住みますー!」と宣言して(笑)。看板はステンドグラス作家の方をお願いしてつくってもらいました。

——佐那河内村に移住先に選んだ理由を教えてください。

小松さん 真剣に移住を考えるようになったきっかけは、近所のコンビニエンスストアに強盗が入ったことでした。都会のマンションで暮らしていくのが少し怖くなって、最初は高知県の田舎へ戻るか、沖縄県へ移住しようかと考えていたんです。子供のぜん息も気になっていたんで、空気が綺麗なところがいいなという思いもありました。そんなとき、佐那河内村出身の

方から「徳島で唯一の村がいいところだよ」という話を聞いて、とても興味が湧いたんです。

——初めて佐那河内村を訪れたときの印象はどんな感じでしたか。

小松さん 徳島市内からそれほど離れていないのに、こんなに自然がいっぱいの場所があつたんだと驚きました。移住を決心してから何度も通っているうち、季節ごとに山や川もそれぞれ違う美しさを見せることにも気づいて「ここで暮らしていけたらいいな」と思つたんです。住みはじめてからもその印象は変わらないですね。山道で足を止めて景色を眺める度、とても豊かな気持ちになるんですよ。

移居前から地域の集まりに参加していました。

——これだけの家を探すのは大変ではありませんでしたか。

小松さん 簡単ではありませんでした。まず「空き家バンク」に登録したんですが、村役場の方からは「賃貸の物件は決まて多いわけではない」と聞いたので、購入も視野に入れて探しはじめました。それこそ1週間ごとに佐那河内村へ足を運んで「いいところがあつたら、すぐに教えてください!」と、しつこくお願いしていました。その甲斐あつて、理想的な家を紹介してもら



移住の決め手は 加茂谷という地域と 人々の魅力。

徳島県南東部を流れる那賀川の中流域に点在する10町からなる加茂谷。近年、地域を盛り上げる活動も目立つこの地域に2016年に東京から移住してきた関さんご一家。澄人さんと景子さんが移住を決めたきっかけや加茂谷での暮らしについて伺いました。

関 澄人さん・景子さん

〔出身地〕群馬県・東京都
〔移住年〕2016年
〔現住所〕阿南市
〔職業〕会社員・主婦



探していたのは、田舎と呼ぶことができる場所。

—— 関さんご一家は東京から徳島へ移住されてきたとお聞きしました。

澄人さん そうです。もともと移住に関しては僕よりも妻の方が積極的だったんですよ。僕自身は群馬県の出身ですから、関東地方の自然が豊かなところで育っていますし、田舎に関する憧れもそ

こまでありませんでした。東京で暮らすことに何の不満もなかったんです(笑)。

景子さん 私は東京都の大田区の出身で、ずっと都会で暮らしてきました。長男の朔太郎が生まれてからは育児に専念していましたが「ゴミゴミした東京で子育てをするのは、そろそろ限界だな…」と感じて。私には田舎と呼べる場所がなかったし、どこか自然がいっぱいある土地で畑いじりもしてみたいなと思って。それで、二人目の子供を授かったときに「このタイミングしかない!」と決意して、真剣に東京から地方へ移住することに決まりました。

澄人さん 僕の方は仕事もかなり忙しかったですし、ほとんど妻が移住に関する情報を探してきて二人で話し合うような形でした。それこそ、インターネットで情報を検索したり、東京ビッグサイトで開催されていた「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア」に参加して、いろいろ話を聞いてきてくれて。移住するなら、海の近くで暖かい土地がいいと思っていました。

景子さん 「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア」では、まず高知が気になりましたね。美味しいものが食べられて、まだ未経験ですが、海でサーフィンも楽しむことができるんじゃないかと思っただけです(笑)。その後、高知

ね。加茂谷といえば、農業が盛んな地域でもあります。野菜作りなどには挑戦されていますか。

景子さん H A L のサテライトオフィス「屯(たむろ)」は「の畑を借りて、いろいろつくっています。落花生、生姜、里芋、人参、じゃがいも…。土がいいせいか、どれも順調でした。いっぱい収穫できたものは東京の友人に送ったりしました。

澄人さん 自分の手で畑を耕していると「それじゃ大変だろう」と機械を貸していただいたり。困っているときに手を差し伸べてくれる優しい方も嬉しいですね。そうそう、加茂谷で暮らしていると、旬の野菜はもちろん、鹿や猪の肉なんかもいただくことが多いんですよ。僕は猪の肉が大好物なので、いつも大喜びで食べています(笑)。

自分の目で暮らしていく
土地を確かめよう。

—— 最後にこれからやってみたいこと、移住を考えている方へアドバイスをお願いします。

澄人さん そうですね。徳島で知り合った移住者の方たちは、自分の好きなことを追求しているタイプが多い印象を受けました。僕は絵を描くのが好きなので、僕は絵を描くのが好きなので、いずれは夢の一つであるイラストレーターを目指していきたいと考えています。今はインターネット



景子さん 「いつかは移住したいな」と考えているだけでは何も始まりません。まず気になる土地を見つけて、とにかく足を運んでみるのが大切です。ずっとその場所から暮らしていくわけですから、自分の目で確認しないと駄目ですよ。私たちもインターネットでは住まいに関する情報が見つけられなかったんですよ。やっぱり現地に行くしかないなと思いました。それから、理想を持ちすぎると現実とのギャップがありすぎて挫折してしまいます。いい意味で妥協点を見つけないと、毎日の小さな喜びを見つけれない人の方が向いているのではないのでしょうか。あまり考えすぎないというのもポイントかもしれません。



に行ってみたんですが、どうも私たちにはしっくりこなくて。でも、四国は海に囲まれているし、移住先として良さそうだと感じました。徳島に興味を持ったのは、海部郡海陽町の「ふるさとしごと塾」がきっかけでした。そこで永原レキさんをはじめとする多くの方と出会い、東京のIT企業H A L の古民家を改装したサテライトオフィス「屯(たむろ)」は「のオープン記念食事に参加させてもらっただけです。

もありましたし、どこにいても自分の表現を発表することはできる。どんな形であれ、チャレンジしてみたいですね。妻は料理やお菓子をつくるのが好きなので、そういう特技を生かしていくのではと思います。



澄人さん そのオープン記念食事に妻一人だけが参加していたのですが、サテライトオフィス「屯(たむろ)」はあるのが、ここ加茂谷だったんですね。H A L には妻の妹が勤めているという縁もありましたが、何と言っても加茂谷の人たちの雰囲気がとても良かったそうです。東京に戻ってきてから、そのときの話を聞くと、初対面の人たちをニックネームで呼んでいた(笑)。これには本当にびっくりしましたね。よっぽど気に入ったんだろうなと思いました。

ちようどいい距離感がある
加茂谷の一員に。

—— しかし、移住するにあたっては、住まいや仕事の問題が大きな壁になります。

澄人さん こちらに住む家に関しては加茂谷の人たちが探してくれていたんです。それも嬉しかったですね。今、暮らしているのは、いろいろ見せてもらって決めた「軒家」なんです。探している間も、H A L のサテライトオフィス「屯(たむろ)」は「に宿泊させていだきなど、多くの方に協力いただきました。東京で生活しているときは仕事で忙しく、なかなか家族との時間が持てなかったんです。度々、すべてをリセットして、暮らしそのものを見直すべき時期

景子さん べつたり世話を焼かれることもなく、完全に放っておかれることもありません。人付き合いの距離感がちようどいい地域じゃないかなと感じています。また、子供がいるお母さんのつながりとしては、加茂谷公民館で『加茂谷のママとベビーの会 かもべび』が定期的に開催されているなど、子育て世帯にとっては心強い取り組みも行われているんですよ。

—— 移住者の受け入れや支援の体制が整っているのは嬉しいです

いちご栽培について 考えている時が、 一番楽しいですね。

標高約1000メートルにある水の丸地区。夏秋いちごの生産が盛んで、生産量はなんと西日本一！高齢のため、ハウスを手放す農家さんに代わり、東京から移住し、就農した平松さん。震災以降、漠然と抱えていた仕事への違和感を払拭してくれたのが、農業でした。

平松雄太さん

〔出身地〕岡山県
〔移住年〕2013年
〔現住所〕東みよし町
〔職業〕いちご農家



ウスで復習するという感じです。
—— 農業を始めるにあたって就農支援制度は利用されましたか？
平松さん 新規就農者を対象とした青年就農給付金（農林水産省が行う青年の就業意欲の喚起と就業後の定着を図るため、就業前の研修期間及び経営が不安定な就業直後の所得を確保する給付金）という年間150万円もらえる制度があるんですけど、それは利用しています。でも給付金を最初から当てにしていたわけじゃなくて、来てから「こんなあるよ」と教えてもらって、「せっかくだから使おう」と。
—— 農業は大変な仕事と思うんですが、嫌になったりしますか？
平松さん 嫌にはならないですね。自分のペースでやれるので。楽しいというのとは分かっていても気持ちですし、体がしんどくても気持ちが高揚するくらいだと思うタイプ。この仕事は僕にはあっていると思います。

—— 2014年12月の大雪で甚大な被害に遭われたとか。「もうダメだ！」みたいなには思いませんでしたか？
平松さん ハウス1棟が全壊で、2棟目は半分くらいダメでした。それでも辞める気はなかったです。「辞めて何するの？」って感じじゃないですか。ハウスを建て替える気力も体力もないというなら仕方ないですが、お金もどうにかあったし、「まだやれんじゃねえの？」って。1年目で作り方がわかって、2年目でダメなところを直して、3年目で勝負。農業は3年くらいやって1周かな。だからまだ1周もしてないと思っています。
基本的なやり方は同じでも、作り手の個性が出るからおもしろい！
—— 採算ベースに乗せるためには、いちごだと何反くらい必要なんでしょうか？
平松さん 理想を言うなら、冬と

夏の圃場があってそれぞれ1反ずつ2人くらいでやるのがいいですね。今は人で1反ちよつとやっていて、7〜9月くらいは人だときツイので、手伝いに来てもらわないと難しいですね。冬場は平地のいちご（あすカルビー）を手伝いに行っています。夏秋いちごとは作り方も全然違うんですが、勉強になります。
—— 農家さん同士の接点はあるんですか？
平松さん 農業の後継者クラブという若手の集まりがあるんですけど、それに入れてもらっていて、いちご農家以外の人もいて情報交換しています。農業以外では「バラギ」つながりで知り合った人とか、同じ移住者の人とも交流があります。
—— 都会に比べると娯楽が少ないですが、何をしているときに一番楽しいですか？
平松さん 今は夏のいちごだけですけど、冬もやりたいな〜とか、「次、何しよう」と考えていると

「一番しっくりくるのが農業だったのかな…と。」

—— インタビューの場所として、カフェバラギを使わせていただいておりますが、オーナー・秋元さんとは以前からお知り合いなんですか？

平松さん 勤め先の上司が秋元さんの知り合いで、僕自身、直接面識があったわけじゃないんです。水の丸地区でいちご農家をされている方が、高齢で辞められることになり、ハウスが空くんで、「誰かやりませんか？」みたいな投稿がフェイスブックにあがっていて、それを秋元さんがシェアしているのを、僕の上司が見て。それがきっかけで徳島に来ることになったんですが、上司も一緒に来て、秋元さんを紹介してくれたんです。

—— 不思議な縁ですね！

平松さん 東日本大震災の後、東京で働いていても「なんか違う」と漠然とですが、そう感じていて。東京ではイベントなどの警備を行うパワーセキュリティの仕事をしていたんですが、若い時しかできない仕事と想っていたので、「なんかないかな〜」と想ってはいたんです。そんなときに投稿を見て。実家は岡山のおどう農家なんので、ずっとその環境で育ったこともあって、「一番しっくりくるのが農業だったのかな…」と。

—— 実家に帰ろうとは思わなかったんですか？

平松さん 僕、三男なんで、実家に帰るというのは最初から選択肢になかったですね。自分のやりたいことがやれる環境で、「から始めたい」という思いもありました。2014年の春から就農しているんですけど、初めて徳島に来たのがその半年くらい前。畑とか見せてもらって「ちよつと考えます」と言って、「一旦、東京へ戻ったんですが、2カ月くらいしてまた来て、その時に「やります」と返事をしました。

自分のペースでやれるこの仕事は、僕にはあっていると思います。

—— 就農する決め手はなんだったんですか？

平松さん 来る時に貸主がよほど変な人じゃない限りはよろうと思っていたんですよ。「この人と働くのはしんどいな〜」という人でない限りは、やろうと決めていたの。

—— 農業は引退される方に教えてもらっているんですか？

平松さん その人はもう80歳を過ぎていたので、同業の息子さんに教えてもらっています。息子さんのところに行って手伝って、定植とか、準備の仕方とか、水のやりとか、教えてもらったことを自分のハ

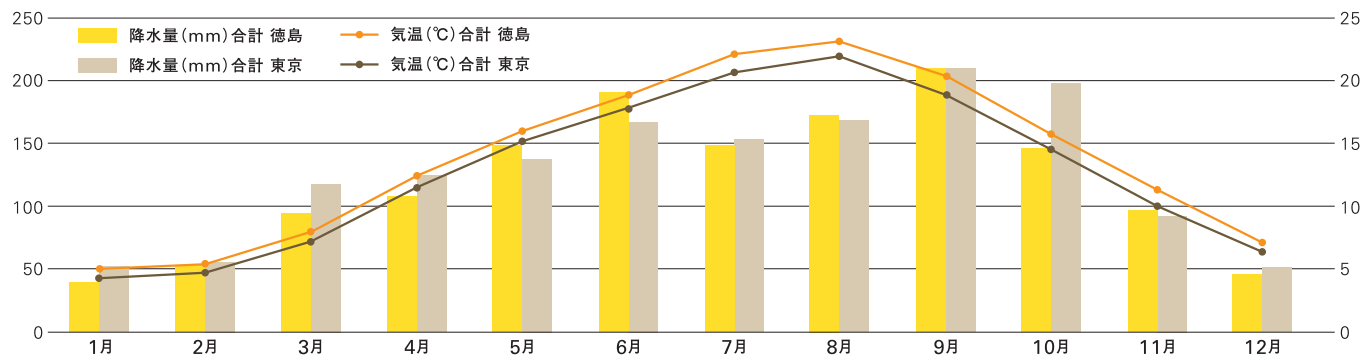


きが一番楽しいですね。かといってガツガツやっているわけじゃなくて、いい話があればのつてみようかな、みたいな。あまり気張っていいいいことないかなと。力を抜いている時の方が、いい話が来たりするじゃないですか。
—— 平松さんは、いちごが好きなんですか？
平松さん 僕、いちごを食べることはそんなに興味ないんですよ（笑）。いちごを作るのは好きですけどね。夏場のいちごは味よりカ

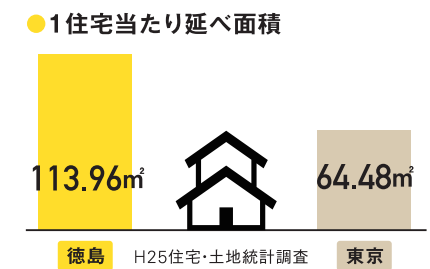
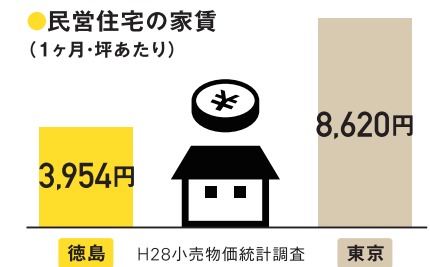
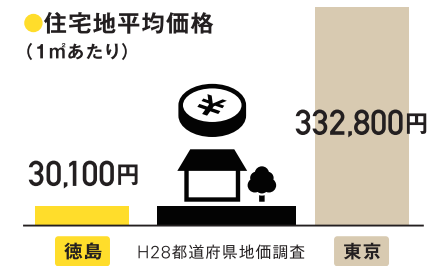
タチがすべてみたいなのところがあって、定植、摘果など、どのタイミングで何をしたら、肥料や水の量とか、出来上がったカタチを見たら、それが正しかったかどうかわかる。自分がやってきたことの答え合わせをしているような感じですよ。基本的なやり方は同じでも、作り手によって差が出るのはそういうところ。そこが面白いと感じています。まだまだこれかなんで、いろいろやっていこうと思います。

徳島と東京、データで比較

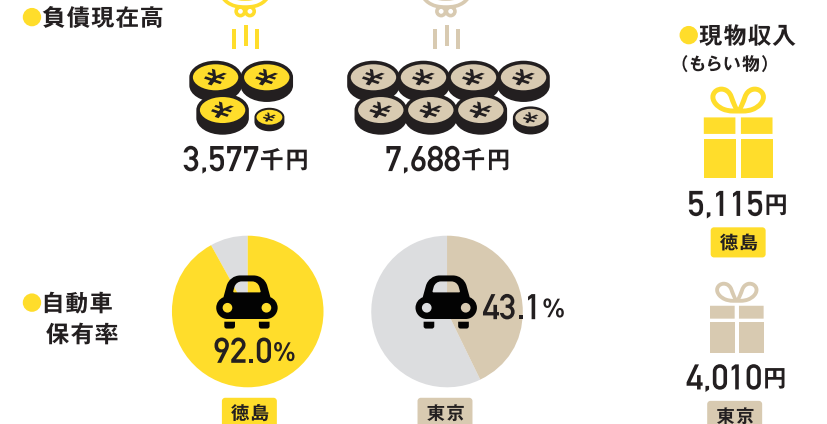
1 気候 1981～2010平年値



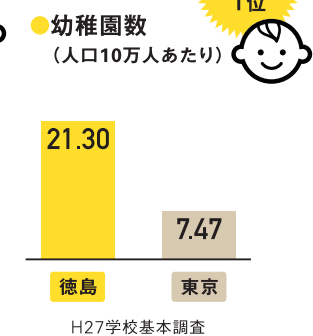
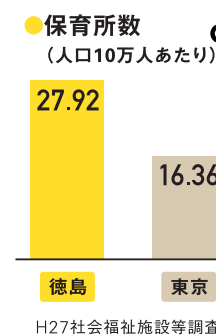
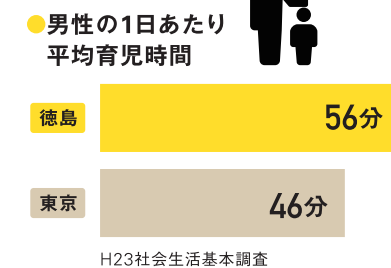
2 住宅



3 家計 H26全国消費実態調査



4 子育て



1 とくしまで住み隊

会員となっていたと、会員証提示で、「とくしま移住サポート企業」のおもてなしが受けられます。イベントのお知らせ等をお送りするほか、希望される方には毎月メルマガもお届けします。お申込みはウェブサイト、もしくはお電話で!

<http://tokushima-iju.jp/sumitai/>
とくしま移住交流促進センター
0120-109-407

2 住まいのサポート

●「とくしま帰郷」住宅対策総合支援センター
空き家の利活用、適正管理、除却などの相談、移住の相談、また、関係するリフォームなど建物の相談から相続・税金、補助金などの相談まで一元的に受付し、相談者の課題解決に向け対応するワンストップ窓口です。
電話:088-666-3124

●市町村の空き家バンク
空き家バンクを開設している市町村もあります。詳しくは裏表紙の相談窓口までお問い合わせください。

3 仕事のサポート

●UIターン就職登録制度
UIターン就職を希望される方の登録制度です。登録された方には、求人情報を、求人企業には登録された方の求職情報を提供して、マッチングを行います。
とくしまジョブステーション 電話:088-625-3190

●一次産業就業の相談窓口
農業／徳島県新規就農相談センター
電話:088-678-5611
林業／公益財団法人徳島県林業労働力確保支援センター
電話:088-676-2200
漁業／徳島県水産振興課
電話:088-621-2472

4 市町村の支援制度一覧

	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	三好市	勝浦町	上勝町	佐那河内村	石井町	神山町	那賀町	牟岐町	美波町	海陽町	松茂町	北島町	藍住町	板野町	上板町	つるぎ町	東みよし町
住宅取得補助等					●	●		●	●	●			●			●	●							●
空き家リフォーム補助		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
リフォーム補助		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●					●	●	●	●	●	●	
家賃補助			●		●		●	●	●			●												
転入奨励金								●		●														
結婚定住奨励金							●						●	●		●								

※H29.4.1現在

5 移住体験施設

掲載施設以外の施設については、裏表紙の相談窓口までお問い合わせください。



土成の家

阿波市土成町
TEL.0883-35-4211(阿波市観光協会)



田舎トライアルハウス
坂本家

勝浦郡勝浦町大字坂本字平野41
TEL.050-3438-7728



上勝町福原
宿泊体験施設

勝浦郡上勝町大字福原字平間62番地
TEL.050-3438-9519



すみはじめ住宅
「西分の家」

名西郡神山町鬼籠野字西分
TEL.088-676-1177
(神山町移住交流支援センター)



藍住さくら団地

板野郡藍住町東中富字権現榜示10番地1
TEL.088-666-3125(徳島県住宅供給公社)



那賀町おためし住宅
「平野シェアハウス」

那賀郡那賀町平野字妙見
TEL.0884-62-1184
(那賀町まち・ひと・しごと戦略課)



美馬市
移住おためし住宅

美馬市脇町字西赤谷2230番地5
TEL.0883-52-8129
(美馬市地方創生推進課)



三好市お試し暮らし住宅
「丘の棟」

三好市池田町州津坂口
TEL.0883-72-7607
(三好市地方創生推進課)